



支援物資を被災地へ

東日本大震災の発生直後から、本市は被災地への支援活動に取り組んできました。

宮城県へ保健師と建築・土木技師、福島県へ緊急消防援助隊、茨城県へ給水作業支援員など、震災直後から専門知識を持った職員を派遣。被災者のケアと復興を支援しています。

また、3月中には被災した中核市への物資の支援を市民の皆さんにお願いしました。その結果、おむつや非常用食料など合計7万7,592点の物資が寄せられました。これらの温かい心は3月29日に福島県郡山市・いわき市に届けました。

これからも、さまざまな方法で被災地の復興を支援していきます。

心は一つ

被災者へつなぐ思い

問い合わせは 危機管理室 ☎027-898-5935

支援物資を送ること。

義援金に協力すること。

ボランティアに参加すること。

節電をすること。

買いだめをしないこと。

すべては被災者の明日のために。

すべては被災地の未来のために。

みんなの心が一つになれば、

きっと、きっと大丈夫。

今こそ、みんなの手を取り合って、

一步一步、進んでいこう。



専門知識と物資で被災地を支援



水戸市で給水支援作業

前橋市 水道局員 古沢 勝義

3月12日から15日まで、茨城県水戸市に給水作業の支援に行きました。市役所周辺などは地面が陥没していて、庁舎も傾いていた光景が頭に焼きついています。水や電気などは不通になっていて、ライフラインの大切さを痛感しました。給水作業を行うことで被災者に喜んでもらうことができ、役に立てたことはよかったです。これからも被災地のために惜しまずに協力していきたいと思っています。



仙台市で家屋の危険度を調査

前橋市 土木技師 坂田 一馬 (写真左)

宮城県仙台市に、3月27日から31日まで作業支援に行ってきました。現地で行ったのは震災で地割れなどの被害を受けた家を訪問し、その危険度を判定する作業です。訪問した多くの家庭で掛けてもらった「遠くからありがとう」の言葉に逆に力をもらった気がします。調査を行った地域は津波の被害がなかったこともあり、街も人も復興に向けて歩み出している印象を受けました。これからも自分にできることで被災地を支援していきたいです。

前橋の農産物と水道水は安全です

本市産農産物／本市の農産物は4月5日に県が行った放射性物質の検査の結果、暫定規制値を下回り安全性が確認されています。安心してお求めください。

●安全が確認された農産物21品目

アスパラガス・イチゴ・ウド・キャベツ・キュウリ・小松菜・春菊・スイカ・タラノ芽・チンゲンサイ・トマト・ナス・ニラ・ネギ・野沢菜・フキ・ミズナ・三つ葉・ミニトマト・レタス・生乳

採水地点	測定値(Bq/kg)		
	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
指標値	300(100)	200	
敷島浄水場(水道水)	不検出	不検出	不検出
金丸2号水源(地下水)	不検出	不検出	不検出

指標値＝内閣府原子力安全委員会が長期にわたり摂取した場合の健康影響を考慮して設定した数値
()内は乳児の飲用に係る暫定的数値 不検出＝測定値が5～10(Bq/kg)未満の場合

本市の水道水／本市の水道水について3月24日に放射線量の検査を行いました。結果は上表のとおりですので安心してお飲みください。

問い合わせは 農林課 ☎027-898-6704

問い合わせは 浄水課 ☎027-231-3080



被災地で健康チェックを行う本市保健師